

令和3年度第2回日田市総合教育会議会議録

開催年月日	令和4年2月8日(火)	
開催日時	午前10時00分	
開催場所	市役所本庁4階 庁議室	
出席委員	日田市長 原田 啓介 職務代理者 木下 靖郎 委員 諫本 憲司 委員 佐々木 美徳	教育長 三笥 眞治郎 委員 永山 真江 委員 古田 嘉寿美 委員 荒川 富士子
事務局職員	企画振興部長 地方創生推進課長 地方創生推進課主幹(総括) 地方創生推進課職員	教育次長 教育総務課長 学校教育課長 教育総務課主幹(総括)
議題	(1) 日田市教育大綱の改訂について (2) その他	

事務局	<p>ただ今から、令和3年度第2回日田市総合教育会議を開会させていただきます。</p> <p>次第1に入ります前に教育次長から御報告がございますので、よろしくお願い致します。</p>
教育次長	<p>協議に先立ちまして、私から本日の総合教育会議の議題について御報告をいたします。</p> <p>先の第1回会議におきまして申し上げましたように、市が取組を進めております総合的な子ども支援拠点につきましては、その機能や体制の案が確定次第、第2回会議において案をお示しする旨を申し上げておりました。</p> <p>しかしながら、その後、福祉部局との連携を図る中で、教育についての有意性等につきまして、議論を深めたいとの思いから現在協議を進めておりますので、いましばらくお時間をいただきたいと考えております。</p> <p>そのため、本日の協議事項につきましては、お手元でございますように、日田市教育大綱の改訂についてのみとなっておりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>それでは次第の1でございます。</p> <p>開会に当たりまして、原田市長が御挨拶申し上げます。</p>
市長	<p>皆さん、おはようございます。</p> <p>本日、第2回の総合教育会議ということで、お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>御案内のとおり、新型コロナウイルス感染症は、日田市において、かつてないほど感染が拡大し、特に幼児や子どもたちに広がっていることは非常に危機を感じており、今、対策に取り組んでいるところであります。</p> <p>特に、昨日、給食センターで感染が確認され、これから18日までの間、給食の提供を中止しなければならず、保護者の皆さん方、また、学校にも多大な御迷惑をおかけすることになっております。一日も早い終息に向けて、我々もできる限りの取組を進めていきたいと考えておりますので、御理解いただければと思っております。</p> <p>今日は、御案内のとおり日田市教育大綱の改訂について、皆さん方に御協議をいただくわけでございます。</p> <p>コロナ禍を経験する中で、子どもの学びの環境というものも大きく変わっております。新たな視点で、子どもの教育現場というものを作っていくことは、大きな課題と考えておりますので、そういった気持ちで今後も臨んでいきたいと考えております。最後までどうぞよろしくお願い致します。</p>
事務局	<p>続きまして、三笠教育長から御挨拶をお願いいたします。</p>

<p>教 育 長</p>	<p>教育委員会を代表しまして一言御挨拶を申し上げます。</p> <p>原田市長におかれましては、新年度予算の編成、あるいは3月議会前のお忙しい中、総合教育会議を開催いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大につきましては、現在、臨時休業を数日間実施する学校が複数校生じるなど、学校現場におきましても、多大な影響を受けている状況でございます。</p> <p>教育委員会といたしましては、児童生徒が安心して学校で過ごすことができるよう、感染防止の徹底を図ることはもちろんでございますけれども、1人1台整備されましたタブレット端末を利用したオンライン授業など、子どもたちの学びを保障する取組を今後も推進していきたいと考えているところでございます。</p> <p>本日、議題としてあがっております教育大綱につきましては、今後の日田市の教育の方向性を示すものでございます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症などにより、社会情勢が大きく変容する中、日田市の目指すべき教育の理念、方針について、教育委員会として市長のお考えもお伺いしながら、限られた時間でございますけれども、有意義な意見交換を図りたいと考えております。</p> <p>本日はどうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>それでは、協議事項に入らせていただきます。</p> <p>市長の進行で進めさせていただきますので、市長よろしく願いいたします。</p>
<p>市 長</p>	<p>それでは、早速次第を進めさせていただきます。</p> <p>議題にあがっております日田市教育大綱の改訂についてでございます。事務局から説明をお願いします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>【資料に基づき、日田市教育大綱の改訂について説明】</p>
<p>市 長</p>	<p>ただいま事務局から説明がございました。</p> <p>この内容について、何か御意見等ございましたらお願いいたします。</p> <p>今回、新しい教育大綱の中の2番目で、「安全、安心な学校づくり」を「安全、安心で、学びを支える」と、あえて「学びを支える」という言葉を追加しているということです。</p> <p>この「学びを支える」とは、どういったイメージをされているかを話していただければと思います。</p>

<p>教 育 次 長</p>	<p>「学びを支える」という部分で言いますと、コロナ禍も含めてですけれども、自然災害等で大きく子どもたちの学習活動が、休業などによってなかなか思うようにできないという状況が、実際、これまで日田市においても、そういった状況に置かれていた訳でございます。</p> <p>コロナ禍においても学びを止めないということで、学びの保障という言い方をしておりますけれども、タブレット端末などを活用して支えていくというような状況を踏まえ、この大綱の中に「学びを支える」という一言を加えたところです。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>それに加えて、昨今の教育を取り巻く状況の中に、特別な支援を必要とする児童生徒の増加であるとか、いじめ、不登校児童の増加であるとか、貧困の問題、そういった多様化する子どもたちにきめ細かな支援が求められているというところもございまして、その対応も含め、「支える」という部分を今回追加したところでございます。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>子どもの学びを支える環境と言ったときに、事務局から説明がありましたことに加えて、教職員がもう一つの大きな環境だろうと思っております。</p> <p>教職員の負担軽減である働き方改革、そういったものもこの「学びを支える」という言葉には、大きく考えれば含まれるのではないかなと考えているところでございます。</p> <p>先ほど次長から、タブレット端末やICT機器等の活用というお話がございましたけれども、これらを有効に活用することで、教職員の負担軽減にもつながっていくのではないかと考えているところでございます。</p>
<p>荒 川 委 員</p>	<p>教育大綱の基本理念の漢字の件でお尋ねです。</p> <p>「未来を切り拓き」ですが、他のところは子どもでも読める漢字だと思うのですが、この「拓き」がオープン「開き」でないのは何か意味があるのでしょうか。</p>
<p>教 育 次 長</p>	<p>「開拓」という意味で、オープンではなく、御手元にあるような「拓く」という文字を使っています。「拓く」という文字は、子どもたちが未来を切り拓く、自分の力で希望を持って、自分で歩を進めていくというようなところで、単に「開く」という文字ではなくて、こちらの文字を使ったというところで</p>
<p>荒 川 委 員</p>	<p>分かりました。進撃の巨人もあることだし、思いを「開く」のオープンのほうがいいかなと個人的には思った次第です。以上です。</p>

<p>市長</p> <p>諫本委員</p> <p>教育次長</p> <p>諫本委員</p> <p>教育総務課長</p>	<p>ほかに何か、確認するようなことがあれば、お願いします。</p> <p>前回の会議のときに、いろんな観点から質問があったと思います。その中で、日田市を支える人材づくり、地域とともにということもあるのですけれど、子どもたちがふるさと教育などで育った後、その結果、日田市を支える人材になってほしいというような意見があったと思います。新しい実施方針には、どの辺りで表現されているのかということをお尋ねしたいと思います。</p> <p>御手元の資料の「日田市教育大綱の改訂について」の4ページでございます。地域を支える人材に関する記述、取組ということで、前回の会議で御意見をいただいた中で、右側の対応方針という欄の「関連する内容を下記に記載しています」というところをご覧いただきたいのですが、この中で、別紙の教育行政実施方針(案)の14ページから15ページ、それから23、24ページに、咸宜園教育の中で、先哲の教えや生き方に学ぶ学習を推進し、郷土を誇りに思い、ふるさとを愛する心を育むということ、コミュニティ・スクールの推進という中で、地域でその次世代を担う子どもたちを支えていくということ、それから、子どもたち自らが自分たちの住んでいるふるさとに愛着心を持ち、その中で育った地域を支えていくような人材育成につなげていくということ、いただいた御意見を踏まえて、今回の教育行政実施方針の中に改めて見直ししながら記述しているところでございます。</p> <p>当然、学校教育のみならず、社会教育の領域においても、そういった取組というのは必要となっておりますので、そのような取組を進める中で、御意見をいただきましたような人材育成といった取組を進めていくということでございます。</p> <p>分かりました。会議前にいただいた資料の中ではその辺のところを詳しく確認できませんでしたが、多岐にわたってそれに関する内容が記載されているのは確認しました。</p> <p>ただ、直接それを表す言葉というのは特には入っていなかったようで、先ほどの資料の真ん中辺りの⑤に「地域を支える心を育てるとともに」と書いているところが一番近いのかなと思いました。</p> <p>1点付け加えてございます。教育行政実施方針の4ページに、今回、新たに上段にSDGsに関すること、その下段にESD、持続可能な開発のための教育に関する取組というページを設けており、こちらの4行目に「持続可能な社会の担い手を育む教育と位置づけ」られ、学校教育の中ではこういった具体的な取組を行っておりますということを記載させていただいているところです。</p>
---	--

佐々木委員	<p>質問した記憶がありますが、日田市の子どもたちに、日本を支えるのは当然ですけれども、その地域を支えるというメッセージというか、その辺を明確にしたほうがいいのではなかろうかという話だったと思います。</p> <p>人材を育成するのは当然のことですので、人口が減少している日田市を支える人材を育てるところを明確にしてもいいのではないかとこのところではあります。</p>
教育次長	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>教育の分野においては、日本型の教育の中で全人格的な学習のみならず、そういった人格形成の部分も進めているところでもありますけれども、あなた方の教育の先には、あなた方が地域を担っていくのですよというような直接的な文言というのは、なかなか表現しづらいところでもございましたので、間接的な言い方になりますけれど、「ふるさとを愛する」という表現になっているところであります。</p> <p>そういったところも踏まえて、御意見をいただきましたので、以降の具体的な取組につなげていきたいと考えております。具体的な取組として、こういった形で表現するのかについては、改めて検討させていただければと思っております。</p>
市長	<p>今のいただいた意見は、まだ検討の余地があるということかな。</p>
教育次長	<p>大綱そのものは、今現在お示ししている案の中で考えておりますけれども、お配りしている教育行政実施方針案の中で、今いただいた御意見をまた事務局のほうで検討いたしまして、地域を支えるというような言い方をどのような形で教育の中に落とし込むかということにつきましても、改めて検討させていただきたいと考えております。</p>
荒川委員	<p>お尋ねですが、佐々木委員がおっしゃったのは、どんな人材をつくっていききたいのかという具体例をというお話だったと思うのですが、それをこの場で話し合うのか、また別日を設けてそういう話ができるのか、そこを教えてください。</p>
教育次長	<p>総合教育会議という場もございますけれども、むしろ教育行政実施方針になってきますので、定例教育委員会の中で、改めて協議事項というふうに考えております。</p> <p>それともう一点、地域人材に関しましては、子どもたちという部分と、市民の方の社会教育を通して、今までは生涯学習的なところで取組を進めておりますが、地域課題の解決というところも社会教育の大きなテーマとなっております。子どもたちのみならず、そういった社会人の方においても、地域</p>

<p>市 長</p>	<p>を支えるというようなどころも加味しながら、今もそういった記述はごさいますけれども、御意見いただきました子どもたちの部分につきまして、改めて検討を重ねてまいりたいと考えております。</p> <p>教育大綱の基本理念「未来を切り拓き、ふるさとを愛するひとづくり」というところをもう少し分かりやすくというか、これが一番基本理念になっているから、何かの形で文言なり、分かりやすい形が出てくるといいかなという気はします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>御手元の教育行政実施方針案の3ページをお開きいただきますと、教育行政基本方針案というページがございます。</p> <p>そちらの中には、基本方針に対応してこういった取組をしますということはある程度具体的に記載させていただいているところであります。</p> <p>先ほどの案件につきましては、3段目の「学校教育においては」というところになりますけれども、3行目に「夢と誇りを持ってたくましく生きる力、ふるさとを愛し、地域を支える心をはぐくみます。」と記載しており、こういった思いがこの基本方針の中に込められていますという説明を、今回少し修正しているところではございます。</p> <p>また、本文でもそういったところがはっきり分かる形で、再度検討させていただきたいとは思っております。</p> <p>この後、教育行政実施方針案のパブリックコメントを行いますので、そちらでも市民の方の御意見をいただけたと思いますので、そちらと合わせまして、先ほどの委員の皆さんの御意見も反映させた最終版というものをまた御協議をさせていただきたいと思っております。</p>
<p>木下教育長 職務代理人</p>	<p>教育行政実施方針の3ページについて話がありましたけれども、その中で、人口減少とか、災害とか、とても大きな問題に直面していることや、それとともに、SDGsの達成とか、Society5.0時代の到来等について触れられております。</p> <p>そのことから、今回の教育大綱の基本理念であります「未来を切り拓き、ふるさとを愛するひとづくり」ということを改めて見てみますと、「未来を切り拓き」という部分からは、ICT教育やプログラム学習などに取り組むことで、これからの情報化やデジタル化が進んでいく社会の中で、世界に負けないような、そして、世界に果敢に挑戦していくような子どもであってほしいという期待がその部分に込められているように感じますし、また、「ふるさとを愛する人づくり」の部分からは、ふるさと日田の歴史や文化を学び、郷土愛をより一層育てていくことで、これから将来、人口減少がより深刻化になっていく中であっても、子どもたちに輝くふるさと、そして輝く地域の担い手であってほしいと、そんな願いが込められているような気がしております。</p>

荒川委員	<p>咸宜園教育の件でお尋ねしたいのですが、学校ごとに、その教育は行っていると思うのですが、統一した何かってというのはあるのでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>学校教育課が小学校1年生から中学校3年生までの統一のカリキュラム等を示しているということはありません。</p> <p>どちらかという、各学校ごとに、どんな学年でどんな内容を学ぶのか、例えば、調べる学習を中心に低学年でやって、高学年ではもっと情報発信を中心にするとか、そういったことは、学校の子どもたちの実態に応じた形で、教育課程の編成権は校長にありますので、学校の実態に応じた形でカリキュラムを組んでいるということになります。</p> <p>学校同士の交流については、年度末に咸宜園教育研究センターがパトリア日田で、いろんな取組の交流を掲示したり、それ以外にも総合的な学習の主任部会などがありますので、そういうところで情報共有などはしておりますが、統一したカリキュラムということはありません。</p> <p>考え方については、教育行政実施方針の中でもお示ししていますけれど、咸宜園教育の理念を生かした学校経営ということを校長に示し、それに基づいて教育をしていますが、具体的な内容については学校独自の形と考えています。</p> <p>その咸宜園教育の理念の中では、「治めて後、学ばせる」というような基本的な考え方は示しています。</p>
教育長	<p>私から補足ですが、学校教育課長が話しましたように、咸宜園教育の理念とは何かということが一つの大きな要素となっていると思います。</p> <p>日田市教育委員会としては、廣瀬淡窓先生が咸宜園で何を目的に教育を行ったかというところで、やはり一番根本となるのが「敬天」という、「天を敬う」と書くのですけれども、良い行いを通して、人格を形成するというのを、廣瀬淡窓先生は咸宜園教育の第一の目的としたということとございます。</p> <p>それから、もう一つは咸宜園の「咸宜」、「ことごとくよろし」あるいは「みなよろし」という意味で、一人一人の個性を尊重しながらも伸ばしていくという中で、実際は実力主義の月旦評などを使って、厳しい実力主義の教育を行った。言葉は「ことごとくよろし」でございますけれども、実際は、本当に怠ける子が先に進めない、しっかりと頑張る子は級がどんどん上がっていくというような厳しい実力主義の教育を行った。</p> <p>そして、咸宜園では寮生活を行ったわけですが、そこでは職任制といって、一人一人に役を仰せつけて自律、いわゆる、自分の生活を律していくことが大事であり、その生活を律することができた後で教えていくという、いわゆる「治めて後、教える」とか「治めて後、学ばせる」ということを大</p>

	<p>きな理念としております。</p> <p>このほかに放学遊山であるとか、学校を、学びを離れて山野に出かけて詩を読む、特に詩を作ることによる情操教育を非常に大切にされました。</p> <p>こういう理念がいくつかあるわけですが、教育委員会としては、先ほどの「敬天」「咸宜」、そして「治めて後、学ばせる」ということを、各学校で必ず学校経営の中心に据えて、うちの学校はその「良い行い」といったときは奉仕活動をしよとか、地域の人と一緒に清掃活動をしよとか、いろんな活動を自由に学校に取り組ませているといった状況です。その辺は、各学校に任せている部分もあるというところでございます。</p>
荒川委員	<p>詳しい御説明ありがとうございました。</p> <p>私はUターン組で、帰ってきた子どももこちらで育てたのですけれども、やっぱり日田市独自のパンチの効いた方針があるといいなと昔から思っています、例えば、今の「敬天」「咸宜」という内容を子どもたち全員が言えるのか、日田の子どもたちが言えるのか、日田市歌みたいにちゃんと歌えるのか、その辺の統一もあっていいのかなと思ったのが一つです。</p> <p>また、教育大綱は6年もの長い間活用して、改訂もその都度と書いてありますが、その長い間を決めるためのベクトルがあるといいなと思います。</p> <p>私はたまたま英語を教えているのですけれど、グライ・ラマさんが世界と通じるには英語を勉強しろというふうにおっしゃっていました。</p> <p>前回の教育委員会でも、中学校2年生が無料で学校で英検を受けられると聞いて、感謝しています。</p> <p>人口が少ないですけれど、このコロナが終わった後の世界と対抗するには、ある程度英語力もいる。</p> <p>そうしたら、社会人も、例えば小学生、中学生もみんな、英検というのがいいのかわからないですけれど、5級は持っているよとか、3級を持っているとか。大山町はまちづくりで、「梅栗植えてハワイに行こう」ということで、パスポートの所有率が日本一になったという輝かしい経験を持っている町なので、そういうのを活かして、何か具体的にベクトルが合うような教育がなされたら、日田独自の教育がなされたらいいなって希望します。</p>
市長	<p>確かに、意外とこの教育大綱案の表紙の中に、単なる「敬天」、「咸宜」、「治めて」みたいな文言だけでも、スローガンがずっと載り続けるだけでも違うかもしれない、ひょっとしたら親すら知らないこともあるかもしれません。それも書いてもいいのではないかと。</p>
教育長	<p>今御指摘いただいたことは、非常に悩ましいところございまして、例えば、長野県民の方は全員長野県の歌を歌えるとか、多久市では論語を学校で教えて、大人になっても論語が言えるみたいなどころがあります。</p>

	<p>日田市においては、例えば咸宜園の休道の詩、「いうことをやめよ」というあたりは、小中学生が覚えて、咸宜小、桂林小等は卒業式、入学式とかでもやっています。</p> <p>多くの学校でやっていますけれど、まだまだ全校でやっていないところもありますので、そういうところは今後、詰めていければと思っています。</p> <p>英語もやらなきゃいけない、ICTもやらなきゃいけない、ふるさと学習もしなければならぬ、非常にたくさんのことを子どもたちは学んでいかなければなりません。その中でもやはり日田独特の教育となると、咸宜園教育の理念を生かした教育ではないかと思います。それは、ローカルな今後の社会にも通用するし、グローバルな社会にも通用する。ここに記載している「夢と誇りを持つ」というところの「誇り」というのは、日田市のそういう歴史であるとか、文化であるとかを子どもたちにしっかり活かしたいと思っていますので、実施方針を受けて、細かいところについては詰めていかなければいけないと思っています。</p> <p>文言はどこかに入れておく、学校に掲示しておくとか、その辺もまた検討してみたいと思います。</p>
市 長	<p>意外と我々が思っているより全国で知られていて、去年、兵庫県の豊岡に行ったときに、たまたま知り合った方が「日田から来たんやね」と休道の詩を朗々と詠いあげたことがあり、自分の会社の理念の中で、これはいつも言っているんですよということで、縁もゆかりもない人からいきなり咸宜園の話聞いて、この考え方は、結構全国いろんな人に知られているみたいです。</p> <p>だからもっと自信を持って、こういうのを出していくのは良いかなという気がするので、こういった教育大綱みたいなものにきちっと文言として、理解していく部分がありますけれども、イメージとして、ストレートに受け取ることができるよう、さっきのような「咸宜」だとか、「敬天」という言葉だけでも言い続けるのもいいかもしれないです。</p> <p>ビジュアル的に覚えてもらうくらいの方があってもいいかもしれないです。</p>
教 育 次 長	<p>今いただきました御意見につきましては、例えば、教育大綱案の中の2ページにございます基本理念の部分の説明のところでございますけれども、廣瀬淡窓が創設した咸宜園ということを書いているくだりもございますので、こういったところにもっと厚く、御意見やお話いただいた部分を書き加えたり、教育行政実施方針を御覧いただきたいのですが、この実施方針案の11ページでございます。</p> <p>この部分に「咸宜園教育の理念を生かした学校経営の推進」という記述がございますので、こういった部分をもう少し厚く書きながら、それを各</p>

<p>市長</p>	<p>学校に伝えていくというところで進めていきます。</p> <p>「敬天」でありますとか、「咸宜」でありますとか、「治めて後、学ばせる」というようなところも含めて、もう少し明文化して、市民の方に分かるような形で見てもらうところは、また考えていきたいと思います。</p> <p>この11ページにそれを深く書く必要もないと思います。要は、こういう表紙に3つぐらいちゃんと書いてあって、これは何を意味するのかを説明さえできれば、それでいいのではないかと。</p> <p>あんまり深く難しい、何か学術的な話をされたって、そんなことを覚えてはいないと思います。</p> <p>人間の興味って簡単なもので、刷り込みって話じゃないけれど、目で見て「咸宜」って分かるよねって。みんなが知っている言葉で、それは何を意味しているのかが普通に分かるくらいのことでもいいと思います。</p> <p>何かそういう難しくない入り口を少し考えたほうがいいかもしれない。</p>
<p>教育次長</p>	<p>一番分かりやすい「咸宜」であるとか、「敬天」であるとか、そのワードといますか、そういった意味するところでもっとかみ砕いて、子どもたちが目にして、日頃から意識が向くような見せ方については、また考えていきたいと思っております。</p> <p>説明で長々書くのではなく、今市長がお話しいただいたところも、やり方といますか、そこを検討していきたいと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>実施方針に書かれている取組というのは、意味していることが分かればいいわけで、入り口の、本当にワードとしてここを覚えてもらうというくらいで、逆にあんまり深く考えないほうがいいのかもしれない。</p> <p>我々は勉強し過ぎて、テクニカルの部分で文言が非常に長くなっているけれど、そんなものじゃないかもしれない。</p> <p>もう少しリラックスして、不変のものをやったほうがいいような気がします。中身は特に私が見た感じでは難しいとか問題があるとか、非常に何かいびつであるとかそういうことは感じないけれど、入り口の問題ですね。</p> <p>ほかに何かございませんか。</p> <p>特にないようでしたら、先ほどいただいた意見を今後の教育委員会で、答えも含めてお示しするだろうと思いますので、またそのときに何かあれば、お伝えいただければ思っております。</p> <p>この教育大綱は、今日ここで決定という話ではなくて、最終的にでき上がった形でもう一度会議を開くのか、それとも、今日いただいた意見を入れますからという形で話が終わるのか、どちらでしょうか。</p>
<p>教育次長</p>	<p>今後のスケジュールですけれども、大綱のみは本日決定いただき、いろ</p>

<p>市長</p>	<p>んないただいた御意見につきましては、御手元にございます教育行政実施方針がパブリックコメントを控えておりますので、パブリックコメントでいただいた御意見等も含めて修正し、また定例の教育委員会等で御協議いただくということで考えております。本日は大綱のみを承認いただければと考えております。</p> <p>そういうことをございますが、いかがでしょうか。</p> <p>今日お示した日田市教育大綱の基本理念が「未来を切り拓き、ふるさとと愛するひとつづくり」ということと、基本方針のうち、2番目の「安全で安心な学校をつくります」を「安全、安心して、学びを支える学校をつくります」と文言変更された件につきましては、これでよいということによろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、この教育大綱につきましては、事務局から提案のとおり、改訂させていただきたいと思ひます。</p> <p>それでは、以上をもちまして本日の会議の協議事項につきまして、終わらせていただきます。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>これで、令和3年度第2回総合教育会議を閉会とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">終了時間 午前10時50分</p>